

集落住民全員で挑む！

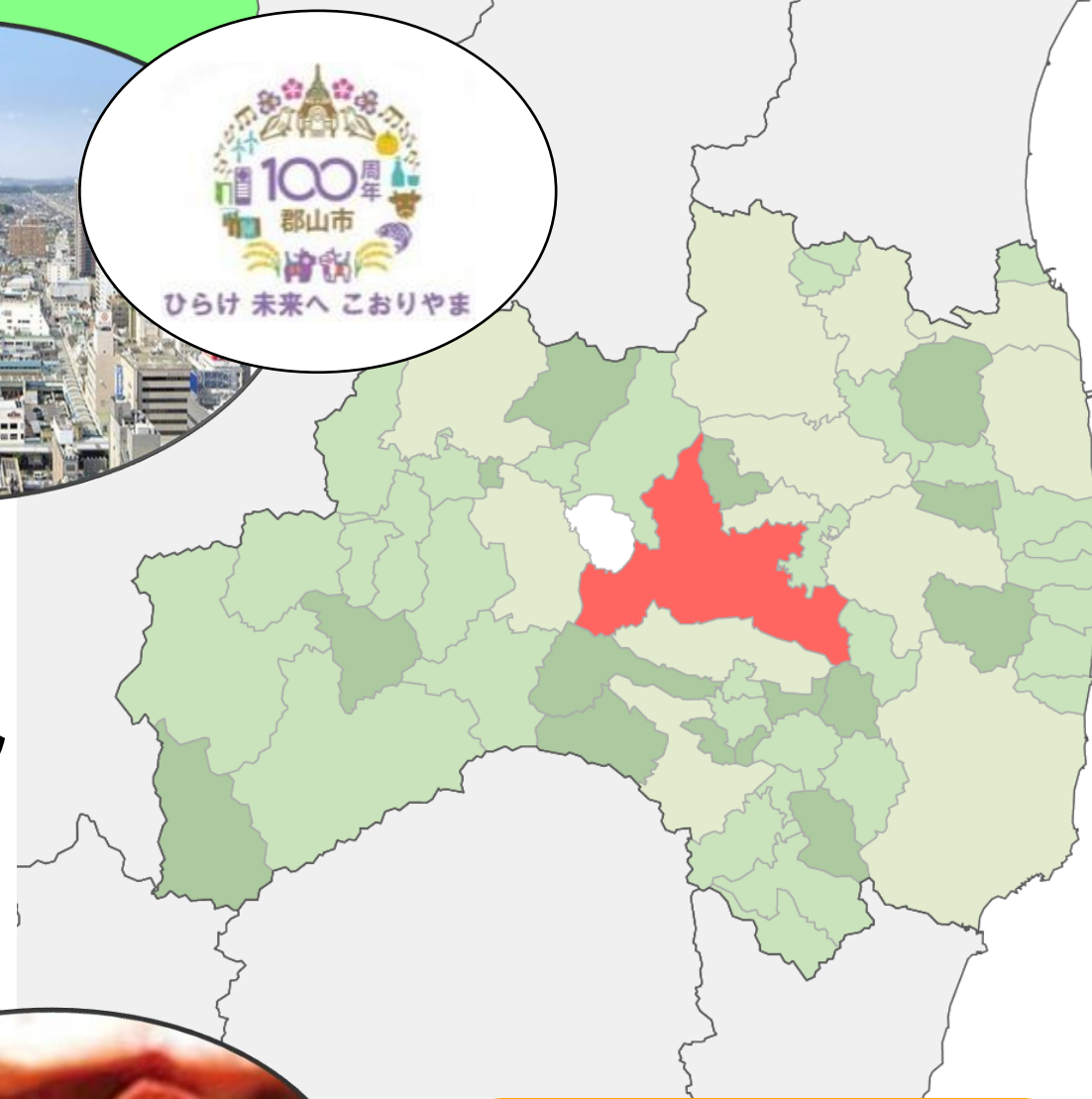
イノシシSTOP大作戦！

福島県郡山市田村町田母神集落
先崎 孝太郎



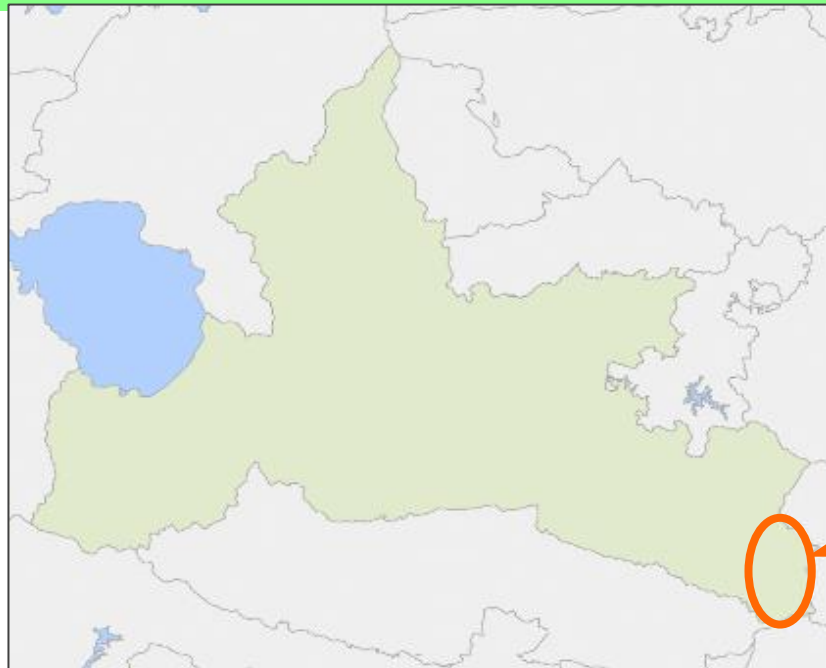
福島県郡山市について

- 福島県の中央に位置
- 首都圏からは東北新幹線で約80分
鉄道や東北・磐越自動車道が縦横に交差するなど、交通の利便性が高い
- 都会的で便利でありながら、農業が盛ん
主な作物は水稻の他、野菜、畜産



人口	約32万人
世帯数	約14万人

田村町田母神集落について



- 福島県郡山市の南東に位置
- 中山間地の複雑な地形に農地が点在し、対策がとりにくい環境
- イノシシによる農作物被害が急増

田村町田母神集落

隠れる場所が多くてサイコー

食べ物も多いぞ！

たくさん産んで育てられるわ～

耕地面積 78.9ha 住民戸数 148戸
主な作物：水稻、たばこ、いちじく

集落における最大の目標

イノシシによる農作物への被害を減らしたい！



イノシシに踏み倒された稲



イノシシによる掘り起こし跡

取組① センサーカメラ活用と集落環境診断による現状の確認

- センサーカメラを設置し、出没状況を集落住民で確認・共有
- 集落環境診断を住民全員で行うことで、侵入・被害のある場所を確認



確認後の地図作成



センサーカメラに映ったイノシシの群れ



住民による集落環境診断の実施

取組② 電気柵等による被害防除の実施

- 担い手不足等により遊休化した農地や高齢者の農地も防護範囲に含め、集落の全農地に被害防止柵を施す方針を定めた
- 事業を活用して電気柵を導入し、住民総出でグループに分かれ電気柵を設置



電気柵設置計画の地図



住民総出による電気柵の設置



電気柵設置の工夫

取組③ 捕獲隊との連携による個体数調整

- イノシシの出没情報や生息情報を捕獲隊に共有し、箱わな設置箇所を選定や移設につなげ、効率的な捕獲を実施



箱わな設置の様子



設置された箱わな

取組④ ICTによる省力化技術の導入

- 個体識別センサーを搭載した箱わな「獣サイズ判定センサー式自動捕獲システム」を導入し、捕獲隊の負担を軽減



自動捕獲システム搭載箱わな



捕獲されたイノシシ

取組成功の秘訣

- 集落内広報誌「イノシシじいさん」を
集落全戸に配布（計17号）



鳥獣対策の技術をわかりやすく解説し、
集落住民全員の意識を醸成！

- 中心的担い手に情報集約するネットワーク
を構築



- 電気柵の点検や補修など防護対策の見直し
- 箱わな設置箇所を見直し捕獲効率の向上
- 環境整備



取組の成果①

● 電気柵設置や維持管理をグループ単位で行う取組



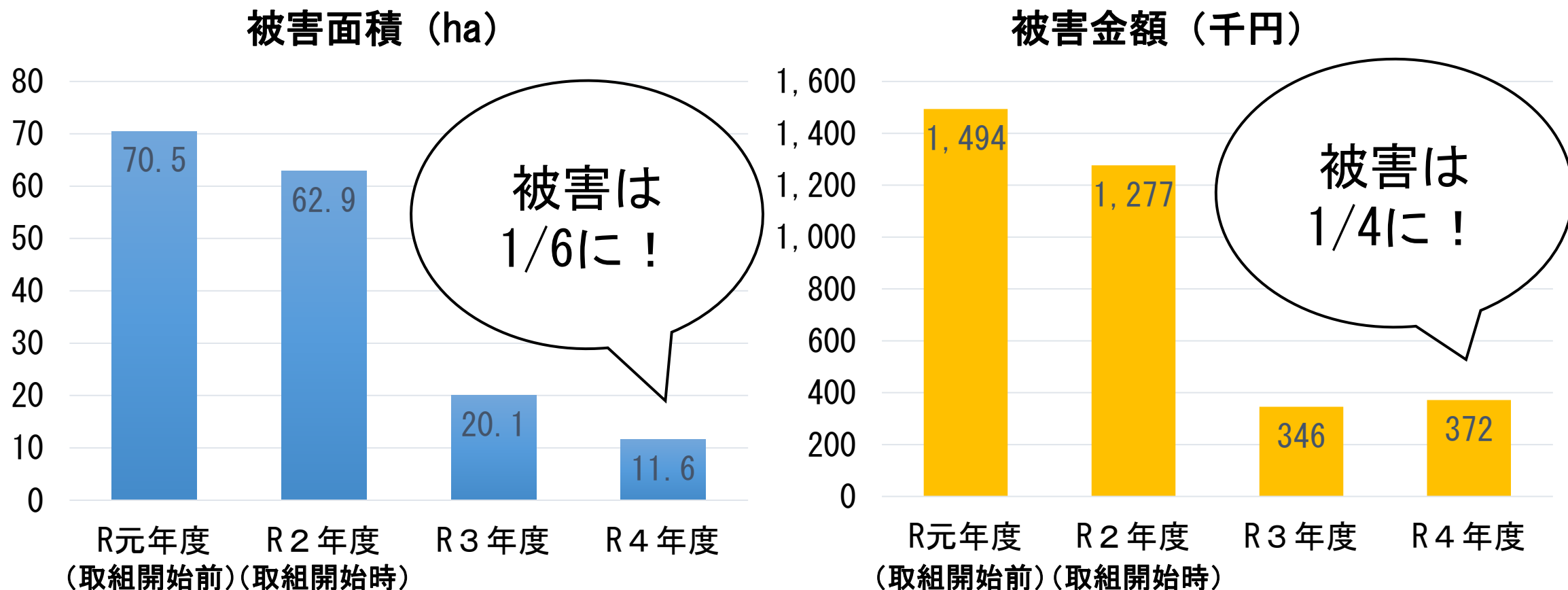
経験・知識を持つ者が、新規就農者や若者などにノウハウを継承し、
お互いを支え合い、担い手の育成と活動の継続が可能となった



電気柵設置後の確認

取組の成果②

● 取組の開始に伴う鳥獣被害の推移（郡山市田村町全体）

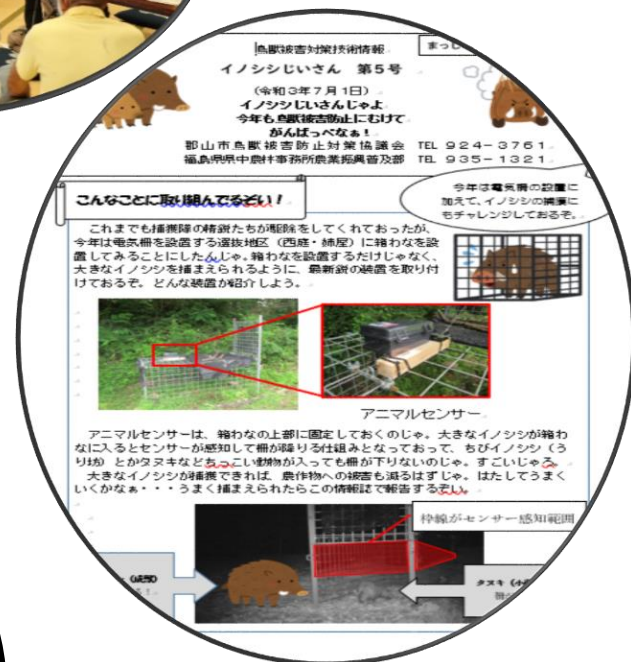


生息環境管理

継続的に実施

侵入防止対策

猟友会と
連携した
個体数調整



ご清聴ありがとうございました!

これからも田母神集落で挑むぞ! 鳥獣被害対策!

